

「働き方」を見直してみませんか

今の「働き方」のままで大丈夫？

「長時間労働は当然！」など男性中心の働き方を前提とする労働慣行



育児や介護をしながら働きたいのに、十分に活躍できない…

家事をしたり、地域活動などへ参画したりしたいのに、十分な時間がとれない…



育児や介護などにより“時間制約”がある働き手の増加

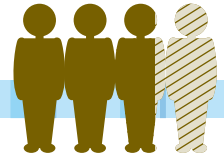
以前は片働き世帯が多数派でしたが、現在は共働き世帯がそれを上回っています。

さらに、高齢者の増加に伴い、仕事をしながら家族などを介護しなければならない人も増えています。



減り続ける働き手

人口減少や高齢化によって働き手は減少し続けており、今後30年で生産年齢人口(15～64歳)は3割減少するとされています。



組織も 働く皆さんも

「働き方」に対する考え方を見直していきましょう

労働力の確保のためにも、長時間勤務を前提とした働き方を見直し、生産性を高めながら、柔軟な働き方ができるように変えていかなければなりません。

市では、ワーク・ライフ・バランスの推進のために、市内企業向けの出前講座や、専門講師を招いた企業間情報共有・交換会議を開催しています。

「働き方」を変えるキーパーソン“イクボス”

イクボスが増加

働きやすい職場が増加

ワーク・ライフ・バランスの推進

男女共同参画社会の実現

「イクボス」とは、職場において部下が育児と仕事を両立できるように配慮し、育休取得や短時間勤務などを行っても、業務を滞りなく進められるよう業務効率を上げるとともに、自らも仕事と生活を充実させている管理職のことです。

イクボスを増やすことで、誰もが働きやすい社会へと変えることができます。「男女共同参画社会」の実現のための一つの手段として、市では今後も取り組みを進めていきます。



家族の笑顔は元気の源！



3月4日(土)に森市長がイクボス宣言をしました。

今後、職員の働き方改革や、市内企業・団体のワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいきます。

あなたのイクボス度チェック

- 日ごろから部下と積極的にコミュニケーションを取り、仕事以外の状況も把握している
- 定時に退社しやすい雰囲気を作っている
- 業務の効率化や時間外労働の削減、有給休暇の取得促進に努めている
- 一部の部下に業務が偏らないよう配慮している
- 自らが仕事も生活も充実させている